

2022年(令和4年)度 事業報告書
2022年1月1日～2022年12月31日
特定非営利活動法人 Earth as Mother

1 事業実施の概略

特定非営利活動法人Earth as Motherは、「全ての人と自然と共に生きる」事を基本とした「生活様式」を6つの理念を基に構築し、未来の子ども達に心も身体も健康に笑顔で暮らせる地球を渡していく事を目的とし設立した。

社会、人間が抱える諸問題として、環境破壊、心身破壊が有り、地球の再構築が必要と考える為、具体的な取組として2009年から愛知県豊田市や犬山市羽黒や岡崎市幸田にて活動を開始。

2010年からは、豊田市藤岡、下川口、池島町でビオトープや冬水田んぼも始め、生き物が集まった自然耕が出来、農業が始まり、2019年からは日進市での農業と福祉の構築を名古屋市、豊田市、日進市を中心として活動した。

令和4年度の活動目標は、例年継続事業として既存会員へのご提供サービスのレベル向上の為、会員向けメール配信やホームページを展開、会報誌マザリーアースたいむずは、年2回の定期的な情報発信を行い、新会員には、名刺と徽章などの配布を継続で行った。

会員以外への情報発信は、「とよたつながる博」のプログラムとして農業体験をイベント開催、また、ボランティア募集掲載サイトの「アクティボ」へ登録し50人の応募参加があった。

愛知県や豊田市の公的な広報となる「とよた市民活動センター」のHP、「東海農政局食育メールマガジン」、「食育ネットあいち」のメールマガジン等へのイベント情報の掲載を実施した。

今年度の豊田市開催のイベントについては、新型コロナウイルス感染予防をした上で、参加者を募り、農薬、化学肥料、除草剤を一切使用しない完全オーガニック作物の安全な食農と健康に関する課題提起、解決を図った。

日進市の委託事業である「にしんアグリスクール」は、今年度「米づくり体験コース」及びベジたんぼ作りコース「6次産業コース」の企画運営を行った。お米作りと里芋作りを実施。最後は両コースの参加者が集まり共食ワークショップを実施。火起こし体験ときりたんぼ鍋作りを行った。

令和3年度 食料産業・6次産業化交付金（愛知県「地域での食育の推進事業」）では、教育ファームと「食生活と農業に関するシンポジウム」を開催。令和4年度消費・安全対策交付金（愛知県「地域での食育の推進事業」）では、教育ファーム検討委員会と「にしん大根まるっと定食を作ろう」と題し、伝統料理講座を開催。

豊田市藤岡、猿投地区、日進市の田畑では、農業後継者が激減していく中、遊休農地や耕作放棄地が増えた問題や国内自給率が低い等の課題を踏まえ地産地消を促す有機循環自然農法を実践し、安心安全な農薬、除草剤、化学肥料不使用の完全オーガニック氣力野菜、氣力米を作り、ボランティアを受入れて親子や一般参加者が農業に関わる環境を継続的に行っている。

イベント開催は、新型コロナウイルスの影響で昨年と同様の状況であった。健康で持続可能な地域社会を基盤とするコミュニティ構築を形成出来る様に活動を推進し、愛知県本部より岐阜県、三

重県、千葉県、兵庫県、青森県等の県外にも理念の普及啓発とマザリーアースプロジェクトの賛同実践者を増やし、会員増強に努める。

各事業の具体的な内容としては、定款の目的を達成するため、次の事業を実施する。

- ① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。
- ② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業。
- ③ 保健、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業
- ④ 資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業。
- ⑤ 生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業。
- ⑥ 食育を推進する事業。
- ⑦ 農作業の付帯業務・請負及び農具・土壌改良資材の製造、販売事業。
- ⑧ その他この法人の目的を達成するために必要な事業。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る研修事業

※ 講師等役職名は敬称略

(ア) ①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業

(イ) 事業内容

WEBシステム利用の活動はメール配信にてイベント、セミナー、ボランティア等の発信会員以外の方への情報発信は、Facebookや「とよたつながる博」のサイトで応募を実施。

愛知県や豊田市の公的な広報である「とよた市民活動センター」のHP、「縁ジョイ市民活動フェスタ2022」、「東海農政局食育メールマガジン」、「食育ネットあいち」のメールマガジン等にイベント情報を掲載。

(ウ) 事業内容

とよた市民活動センターで開催された「縁ジョイ市民活動フェスタ2022」にてパネル展示を実施。

(エ) ①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 他団体交流

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援	縁ジョイ市民活動フェスタ2022 パネル展示での活動紹介を行う	(A) 2022年(R4) 10月23日 10:30～15:00 (B) とよた市民活動センター	(D) 豊田市民等 (E) 不特定多数	0円

する事業。 (他団体交流)		(C) 1 人		
------------------	--	---------	--	--

(2) 総費用（無償ボランティア 1 人）

総合計 0 円

(内訳)

(3) 収益

総合計 0 円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

PR活動の一環となったので良い機会となったが、活動パネルの更新が課題。

(オ) 事業内容

「フィールドワーク（安城学園高校）」を開催

昨年度に参加した愛知県主催の「寄附のゼミナール」後続事業としてフィールドワーク（安城学園高校）を受入れた。雨天であった為、当初予定していた中京大学今井ゼミ主催による『お米を守れ！草抜き大作戦』が中止となり、米野木町、本郷町圃場視察の後、にぎわい交流館にてNPOでの活動についての座学開催。ケーブルテレビで放映された日進アグリスクールの映像、日進市から受託の生活困窮者等就労準備支援事業・いくるばにっしんでの活動を紹介。その後アグリスクールのプログラム開発等を課題としてワークショップを実施。

(カ) ①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 他団体交流

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
① WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (他団体交流)	愛知県主催の 「寄附の ゼミナール」 後続事業として フィールドワーク (安城学園高校) を開催	(A) 2022年 (R4) 7月10日 7:00～14:00 (B) 日進市米野木 町圃場当会圃場 (C) 4 人	(D) 安城学園 高校生、 中京大学 今井ゼミ生 (E) 17 人	0 円

(2) 総費用（無償ボランティア 4 人）

総合計 0 円

(内訳)

(3) 収益

総合計 36,000 円

(内訳)



(4) 反省点・改善ポイント

「寄附のゼミナール」後続事業であり、今回のみの事業。

教員、県職員、大学生、高校生がそれぞれのテーブルに座る形で普段出来ない交流も出来た時間となった。プレゼンも各グループ趣向を凝らしたのになっており、今期でも取り入れられそうな案もあった。

(キ) 事業内容

日進アグリスクール米作り体験コース特別編、 『お米を守れ！草抜き大作戦』

中京大学今井ゼミ主催。家族対抗のクイズ対決、「お米を守れ！草抜き大作戦」を行った。

2チームに分かれて、7分間2セットで抜いた草の重さを競った。参加したご家族や子ども達からは「楽しかった」「面白かった」等概ね好評。

(ク) ①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 他団体交流

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (他団体交流)	日進アグリスクール米作り体験コース特別編 中京大学今井ゼミ主催『お米を守れ！草抜き大作戦』	(A) 2022年 (R4) 7月17日 9:30～12:00 (B) 日進市 米野木町 当会圃場 (C) 4人	(D) 日進アグリスクール参加者 (E) 10人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 4人)

総合計 0円

(内訳)

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

除草だけでなく、米作りの全体を楽しく知ってもらえる工夫をしていく。



(ケ) 事業内容

「作って遊ぼう☆親子で米かるた大会」、ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会

(中京大学今井ゼミ)支援

中京大学今井ゼミが「楽しみながら日進の米作りについて学ぼう!」をテーマに、名古屋学芸大学の学生有志とともに作戦したオリジナル米かるたを用い、かるた大会を米野木町当会圃場にて開催。その支援を行う。

(コ) ①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 他団体交流

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位: 円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (他団体交流)	「作って遊ぼう☆親子で米かるた大会」、ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会 (中京大学今井ゼミ)支援	(A) 2022年 (R4) 10月15日 9:30~12:30 (B) 日進市米野木町圃場当会圃場 (C) 3人	(D) 一般市民 (E) 14人	0円

(2) 総費用 (無償ボランティア 3人)

総合計 0円

(内訳)

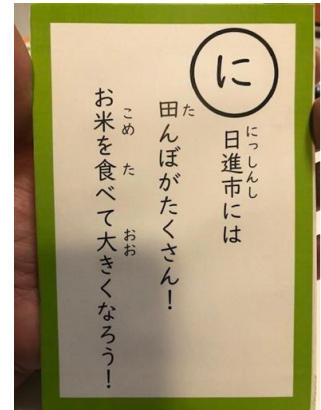
(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

大学生、子供達と次世代への繋ぎができ、今後も学生達とアイデアを出しあって支援していく。



(サ) 事業内容

国際交流の場として参加している、岡崎市の生き生きコミュニティづくりやりぶらまつり 2022 プレイメント、りぶらまつり 2022、年末感謝祭は、今年も新型コロナウイルスの影響により中止。

※ 国際交流事業は、当会の理事の1人が岡崎ニュースを発行し、国際交流を長年開催されており共催にて例年実施。

(シ) ①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 国際交流

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (国際交流)	生き生き コミュニティづくり in 岡崎 コロナの為中止	(A) 2022年(R4) 4月2日 (B) 岡崎図書館 交流プラザ (C) 0人	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E)	0円
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (国際交流)	りぶらまつり 2022 プレイメント コロナの為中止	(A) 2022年(R4) 8月20日 (B) 岡崎図書館 交流プラザ (C) 0人	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E)	0円

①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (国際交流)	第14回 りぶらまつり 2022 おかざき国彩幸流会 Earth café コロナの為中止	(A) 2022年(R4) 10月29～30日 (B) 岡崎市図書館 交流プラザ (C) 0人	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E)	0円
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (国際交流)	第33回国彩幸流会 Earth café 年末感謝祭 コロナの為中止	(A) 2022年(R4) 12月17日 (B) 岡崎市図書館 交流プラザ リブラ 3階 (C) 0人	(D) 岡崎市、 その他 一般市民 (E)	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 0人）

総合計 0円

(内訳)

・コロナの為、本年度は実施せず

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

・コロナの為、本年度は実施せず

(ス) 事業内容

その他として、I-TEN(株)様の経営と従業員に対しての相談指導

(セ) ①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業 その他

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
①WEBシステム利用による異業種産業情報・交流を支援する事業。 (その他)	会社の経営と 従業員に対しての 相談指導	(A) 月1回 (B) 事務所又は リモート (C) 2名	(D) 会員対象 (E) 1名	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 2人）

総合計 0円

（内訳）

(3) 収益

総合計 600,000円

（内訳）

・ I-T E N(株) 顧問料 600,000円

(ア) ②自然再生と環境の保全活動を支援する事業

※ 講師等役職名前は敬称略

(イ) 事業内容

自然再生と環境の保全活動を支援する事業は、環境セミナーとして理念継承勉強会を開催。環境イベントとしては、毎年恒例の田んぼの生き物調査を実施。また、椎茸菌打ち体験は諸事情により中止。

寺子屋ものづくりは、食農感謝祭にて松ぼっくりツリー作りを行う。他は新型コロナウイルスの影響により中止。

(ウ) 事業内容

今年で第5回となるマザリーアースプロジェクト理念継承勉強会を開催した（前年度はマザリーアースプロジェクトセミナーを兼ねて実施）。

活動紹介のDVDの上映をはじめ山本理事長の設立趣意などの講話。黒田雅也、黒田留美理事にてマザリーアースプロジェクト、徳育、愛と精神を中心とした理念について説明を実施。参加者はマザリーアースプロジェクトや理念について理解された様子。

(エ) ②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 環境セミナー

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境 の保全活動を支援する事業 (環境セミナー)	理念継承勉強会を開催。 理事長講話、 理事より経験・活動内容の発表。	(A) 2022年(R4) 3月12日 18:30～20:30 (B) ウィルあいち セミナー ルーム1 (C) 10人	(D) 会員・一般 (E) 31人	27,000円

(2) 総費用（無償ボランティア 10人）

総合計 27,000円

(内訳)

・会場賃借料 4,600円 ・仕入高NPO 22,400円

(3) 収益

総合計 58,000円

(内訳)

《 理念継承勉強会 》

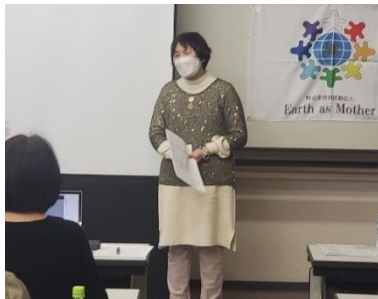
・参加費 54,000円 (2,000円×27人)
 ・参加費 (ZOOM) 4,000円 (1,000円×4人)

(4) 反省点・改善ポイント

山本理事長講話の後、今回初めて、黒田雅也、黒田留美理事による発表。

会の6つの理念の中心となる「徳育」に繋がる話となった。

会の理念や活動について発表する人が限られているので、発表者を増やしていく必要あり。



(オ) 事業内容

年4回の豊田市での主たるイベント第2回目「とよたつながる博」のプログラムとして『自然と共生する田んぼで生き物みつけ』と題して開催。大人も子供も自然の中で生き物と共生している事を学ぶイベント。椎茸菌打ち体験は、諸事情により中止。

(カ) ②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 環境イベント

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境 の保全活動を支 援する事業 (環境イベント)	椎茸菌打ち体験 諸事情により 中止	(A) 2022年(R4) 3月27日 (B) 豊田市 当会圃場 (C) 0人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 参加者 0人	14,120円
②自然再生と環境 の保全活動を支 援する事業	第2回 環境イベント 『自然と共生す	(A) 2022年(R4) 8月7日 9:30~13:00	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 参加者	16,879円

(環境イベント)	る田んぼで生き物みつけ』を開催。	(B) 豊田市猿投棒の手会館(裏) 当会圃場 (C) 15人	45人	
----------	------------------	-----------------------------------	-----	--

(2) 総費用 (無償ボランティア 15人)

総合計 30,999円 (14,120円+16,879円)

(内訳)

・保険料	1,200円	・賃借料	400円
・仕入高	14,120円	・消耗品	15,279円

(3) 収益

総合計 27,000円

(内訳)

「自然と共生する田んぼで生き物みつけ」 (8/7) 27,000円

参加費

・一般大人 (高校生以上)	22,800円 (1,200円×19人)
・小中学生	2,000円 (200円×10人)
・未就学児 (3歳以下)	(0円×5人)
(食事代 希望者のみ)	
・スタッフ	2,200円 (200円×11人)

(4) 反省点・改善ポイント

生き物調査については、コロナ禍にて集客人数は少ないが子供が多く、ソーシャルディスタンスを保つのが難しいのでグループ分けをし、常に声掛けが必要。

参加者には、生物多様性について良い学び事が出来た。



(キ) 事業内容

当会でお借りしている市民農園の圃場整備の為に助成金申請をして畑の管理運営に役立っています。

(ク) ②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 環境保全

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (環境保全)	豊田市環境保全型農業交付金	(A) 年一回 (B) 豊田市 当会圃場 (C) 0 人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 0人	0 円

(2) 総費用（無償ボランティア 24人）

総合計 0 円

(内訳)

(3) 収益

総合計 185,468 円

(内訳)

《 豊田市環境保全型農業交付金 》

・助成金 185,468 円

(ケ) 事業内容

寺子屋ものづくり事業部は、県のテーマパークであるモリコロパークにて、春秋まつり「モリゾー、キッコロをハサミ一本で作る粘土教室」、「にっしんわいわいフェスティバル」での日進市のマスコットキャラクターである「ニッシーの粘土教室」も新型コロナウイルスの影響により中止。

第1回食育イベント食育感謝祭では『松ぼっくりツリー作り』楽しみながらのツリー作りを体験。

(コ) ②自然再生と環境の保全活動を支援する事業 寺子屋ものづくり

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
② 自然再生と環境の保全活動を支援する事業 (寺子屋)	モリコロパーク 春祭り ハサミ1本で作る モリゾー、キッコロ の粘土教室	(A) 2022 年(R4) 3 月 26～27 日 (B) モリコロ パーク (C) 0 人	(D) 愛知県内外 一般、会員 (D) 0 人	0 円

ものづくり)	コロナの為中止			
③ 自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (寺子屋 ものづくり)	モリコロパーク 秋祭り ハサミ1本で作る モリゾー、キッコロ の粘土教室 コロナの為中止	(A) 2022年(R4) 9月17日 (B) モリコロ パーク (C) 0人	(D) 愛知県内外 一般、会員 (E) 0人	0円
② 自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (寺子屋 ものづくり)	にっしんわいわい フェスティバ ル 「粘土で作る ニッシー作 り」 コロナの為中止	(A) 2022年(R4) 7月2日 (B) 日進市 市民会館 (C) 0人	(D) 日進市 一般、会員 (E) 0人	0円
③ 自然再生と 環境の保全 活動を支援 する事業 (寺子屋 ものづくり)	第4回食育イベント 食育感謝祭 「餅つきと 和太鼓演奏 会」 『松ぼっくりツリー ス作り』を開催	(A) 2022年(R4) 12月5日 10:00～14:30 (B) 豊田市猿投町 当会研修施設 (C) 13人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 40人	1,212円

(2) 総費用 (無償ボランティア 13人)

総合計 1,212円

(内訳)

・仕入高 1,210円 ・消耗品 2円

(3) 収益

総合計 12,000円

(内訳)

- ・松ぼっくりツリー(12/5)
参加費 12,000円 (300円×40名)
- ・コロナの為、本年度は実施せず
(モリコロパーク春祭り、秋祭り、にっしんわいわいフェスティバル)

(4) 反省点・改善ポイント

松ぼっくりツリー作りで、持ち帰りの容器を準備。大きさの見直しが必要。



(ア) ③保険、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業

(イ) 事業内容

心の学校メンタルヘルスのワークショップは、心のあり方や物の考え方について悩みを抱えている方、人との調和や会社の方針に疑問を持った方、心身に病のある方等を対象として、物事の考え方、言葉の使い方、生き方を変える事で「プラス思考」に言葉使いを変えていく事で、人生観が変われる生き方を指導。物事の考え方を変えるだけで、悩みが解消されて心の問題が解決に変わっていく。解決に向けての必要な取組になる事を事例やマンドラ思考を通して自己改革自己啓発の仕方を指導。

ワークショップ形式セミナーを愛知で開催してきたが、今年度も新型コロナウイルスの影響と講師である理事長の体調不良により中止。

福祉健康促進として障害者の方の共同生活グループホーム事業経営での経営者としての経営、運営管理の悩み等、多義にわたってのメンタルヘルス相談。

(ウ) ③保険、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業

その他として企業者へのメンタルヘルス・コンサル事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
③保険、医療、老人福祉及び健康促進事業を支援する事業 (その他)	利用者・スタッフの方々の雇用など施設雇用等の問題。 事業者を対象に毎月コンサル相談をして指導料を頂き改善策を指導	(A) 月 1 回 (B) 事務所 (C) 2 人	(D) 会員対象 (E) 1 人	0 円

(2) 総費用 (無償ボランティア 2人)

総合計 0 円

(内訳)

会場は事務所にて無料

(3) 収益

総合計 250,000 円

(内訳)

・参加費

会員：1名 250,000 円 (50,000 円 × 5 カ月)

(ア) ④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業

(イ) 事業内容

食育・食農の農業関連事項について「心の学校の課外授業」として位置付けられ、食農イベントはマザリーアースファームで年2回開催。

1回目は素手での田植え体験。2回目は稲刈りと五平餅づくり体験。稲刈りは「とよたつながる博」のプログラムとして実施。農業を通じて豊田市猿投町と藤岡飯野町の圃場で、障がいを伴う方々（自閉症、知的障害、発達障害等）、うつ病、生活困窮者、生活保護者の方々を岐阜支部東濃エリア（土岐市）からも受入れ、就労準備訓練実施の場として使用。日進市に於いても本郷、米野木も同様に実施。

活動として共働共生を目指し、完全オーガニックで（農薬、化学肥料、除草剤不使用）安心安全な農業指導を実践の中で、健康に係る問題改善や解決を図る為に、耕作地は農地バンクを活用し、不耕作地と農業後継者問題の最中、有機循環自然農法の普及を会員や一般者、ボランティアに向けての農業指導を実践。完全オーガニックの野菜は安心安全、美味しいと子供たちにも喜んで食べられる野菜を提供出来るイベントで、食育、食農の大切さを伝える機会を増やし、健康で持続可能な社会基盤を形成出来る様に活動を推進。普及と向上と同時に環境保全で生き物や自然との共生の大切さ、いのちを育む大切さについて活動を通じて伝え、半農半就をしながら福祉と農業を活かした、自給自足のコミュニティ構築を目指して実践、継続中。

今年度もCSR活動で、企業ボランティアの安城市の東和精機株式会社様に農業支援、応援、ご協力を頂いている農業ボランティア様、企業様に参加者の方々に日頃の感謝を込めて、食農感謝祭にご招待の声掛けをしたが都合が合わず不参加。

会員やご家族に限らず、参加者の子供達にも農業を伝承し、美味しい無農薬野菜の味を知って頂く機会となり、イベント開催に意義が見い出せた。

もし、食糧危機が来た時に農業経験が有れば、災害時に生き残れ、自然と共生をして行く事の大切さを体験していれば、農業は次世代の担い手に受け継がれると考え、青少年健全育成を目的に学生などのボランティア受入れも実施。

（ウ）事業内容

「第1回食農イベント 田植え」を開催

今年も新型コロナウイルスの影響により、もの作り体験や食育ワークショップを中止。時間短縮をして開催。食農体験は手植えでの田植えと苗取りを実施。

「第2回食農イベント 稲刈り（とよたつながる博）」を開催

本年も、とよたつながる博のプログラムのひとつとして企画。

第2回食農イベントを「豊田猿投町の田園にて、親子で楽しむ食育・食農体験 『昔ながらの稲刈り体験と完全オーガニックのお米、お味噌を使った五平餅作り』」と題し開催。

食農体験として、峰のむらさきの稲刈り、はざがけを実施。

（エ）④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 農事業・食農イベント

（1）開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・ 環境保全型 経済を推進 するコミュニ ティの構築 事業 (農事事業)	農事事業部のダンプ 修善費&車検 集落協定	(A) 2022年(R4) 3月10日 (B) 豊田猿投寮 (C) 1人	(D) 会員 (E) 1人	297,572円
④資源循環型・ 環境保全型 経済を推進 するコミュニ ティの構築 事業 (食農 イベント)	「親子で楽しむ♪食 農・食育体験・紫の お米の田植えをしま う！」を当会豊田市 圃場にて開催 自然との共生に安心 安全な食育・食農に 関心がある市民	(A) 2022年(R4) 5月8日 9:30~13:00 (B) 豊田市猿投 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 14人	(D) 自然との共生 に、安心安全 な食育・食農 に関心がある 市民、会員 (E) 33人	1,300円
④資源循環型・ 環境保全型 経済を推進 するコミュニ ティの構築 事業 (食農 イベント)	とよたつながる博 「昔ながらの稲刈り 体験と完全オーガニ ックのお米、お味噌 を使った五平餅作 り」を開催。	(A) 2022年(R4) 10月2日 9:30~12:30 (B) 豊田市猿投 棒の手会館裏 当会圃場 (C) 12人	(D) 自然との共生 に、安心安全 な食育・食農 に関心がある 市民、会員 (E) 55人	1,750円

(2) 総費用(無償ボランティア 27人)

総合計 300,622円 (297,572円+1,300+1,750円)

(内訳)

- ・修繕費 90,992円 ・賃借料 800円 (400円+400円)
- ・支払手数料 330円
- ・保険料 155,300円 (153,050円+900円+1,350円)
- ・租税公課 53,200円 (41,700円+11,500円)

(3) 収益

総合計 66,700円 (10,900円+24,000円+31,800円)

(内訳)

○農事事業部集落協定 10,900円

○「親子で楽しむ食農・食育体験・紫のお米の田植え」(5/8) 24,000円

・一般大人（高校生以上） 20,400円（1,200円×12人）

・小中学生以下 800円（200円×4人）

・未就学児（3歳以下） 0円（00円×2人）

（食事代 希望者のみ）

・スタッフ 2,800円（200円×14人）

○「昔ながらの稲刈り体験と完全オーガニックのお米、お味噌を使った五平餅作り」(10/2)

31,800円

・一般大人（高校生以上） 27,600円（1,200円×23人）

・小中学生以下 1,800円（200円×9人）

・未就学児（3歳以下） 0円（0円×8人）

（食事代 希望者のみ）

・スタッフ 2,400円（200円×12人）

（４）反省点・改善ポイント

田植えは、昨年からのリピーターが2家族参加。告知案内が少ない為、一般参加が。すくない状況だった。PR方法の改善が必要。

稲刈りは、とよたつながらの博のプログラムだったので集客がスムーズに進んだ。

20名定員だった所が応募開始当日に埋まったので定員を拡大。長年の積み重ねで喜ばれる企画となる。



（オ）④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 マルシェ

（１）開催日時

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の 範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
④資源循環型・ 環境保全型経済を推進する	農産物の生産・販売	(A) 2022年(R4) 1月1日～ 12月31日	(D) 一般・会員 (E) 不特定多数	3,273,318円

コミュニティ の構築事業 (マルシェ)		(B) 当会イベント 会場等 (C) 540 人		
---------------------------	--	--------------------------------	--	--

イベント時の不特定日

(2) 総費用（無償参加ボランティア 延べ540人）

総合計 3, 273, 318円

○人件費用

(内訳) 1, 200, 000円

- ・正会員従事者（延べ22名）無償ボランティア
- ・給料手当
(100, 000円×12ヶ月×1人)

○その他経費用 2, 073, 318円

(内訳)

仕入、棚卸関係	754, 340円		
・当期仕入高	469, 243円	・期首棚卸高	599, 655円
・期末棚卸高	▲314, 558円		
・車両費	220, 393円	・保険料	96, 040円
・租税公課	25, 200円	・通信運搬費	128, 125円
・支払手数料	6, 055円	・消耗品費	29, 727円
・広告宣伝費	13, 360円	・修繕費	541, 898円
・水道光熱費	24, 298円	・減価償却費	205, 382円
・地代家賃	24, 000円	・賃貸料	4, 500円

(2) 収益

総合計 1, 425, 966円

(内訳)

- ・売上高 1, 425, 966円
 - <宅配販売> 386, 778円（関東エリア様販売含む）
 - <出展販売> 841, 117円
 - <雑収益> 148, 071円
 - <受取補助金> 50, 000円

(内訳)

- ・日進シンポジウム 37, 370円
- ・Street&ParkMarket（1回出展） 10, 400円
- ・他マルシェ販売 793, 347円

(内訳)

- ・雑収益（受取運賃） 148, 064円
- ・受取利息 7円

(4) 反省点・改善ポイント

農産物がなかなか出来ず困った。イベントで提供させていただく野菜が、野菜嫌いの子供達が食べられるようになった話を聞くと嬉しい。農事全般の立て直しを図っていく。

(カ) ④資源循環型・環境保全型経済を推進するコミュニティの構築事業 農事体験

今年度もコロナの影響にて実施なし。

(ア) ⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業

(イ) 事業内容

※ 講師等役職名前は敬称略

平成28年3月豊田市生活困窮者自立支援就労訓練事業所認定、令和3年6月日進市生活困窮者等就労準備支援事業を受託開始。岐阜支部、千葉支部における事業及び業務支援。

令和4年度も引き続き「日進市生活困窮者等就労準備支援事業」の受託、支援を実施。

「ひとり親家庭をサポートする目的」のイベント「親子行こリズム」にブース出展。

持続可能な地域共生社会を目指して「生活困難を抱える若者や引きこもり等の支援に関する交流会」開催。

(ウ) 事業内容

令和4年度も引き続き「日進市生活困窮者等就労準備支援事業」の受託を受け、「いくるばにっしん」業務を月、水曜日の週2日間開設。前年度の就労した利用者の定着就労フォローアップ、またひきこもり等から社会復帰を目指す若者利用者2名増え、当会企業会員（業務連携事業者）による社会学講座、協働農事訓練作業及びハローワーク名古屋東、くらしサポート窓口との綿密な連携を図り、より充実した体制で伴走型支援。

みんなで楽しむ参加型イベント～来て見て笑って「親子行こリズム」ブース出展協力

日進市内で活動する「いきいき塾NPO絆、日進絆子ども食堂」主催、日進市、日進市教育委員会、日進市社会福祉協議会の後援で「ひとり親家庭をサポートする目的」を主に子育て支援団体や関係諸機関協力のもと開催された。企画段階から当法人福祉事業部「いくるばにっしん」にも協力要請があり、子どもたちが見て喜ぶオーガニック田畑で生息する生き物の写真展示や「いくるばにっしん」のチラシ展示案内を行う。

全体の内容としては日進市内を中心に活動する音楽グループの歌や演奏、子育て支援グループの展示や活動紹介、ボードゲーム体験なども出展され、親子で夏休みの楽しい思い出になるイベントを開催。

(エ) ⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業

生活困窮者・生活保護者の自立就労支援事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
--------------------	----------	--	------------------------	-----------------

		(C) 従事者の人数		
⑤生活困窮者等 就労準備支援、 社会的包摂推 進に係る事業	生活困窮者自立支 援制度に基づいた 就労準備支援事業 を受託し、生活困窮 に至る恐れがある 人で、自立がみこま れる人の支援	(A) 2022年(R4) 1月1日～ 12月31日 (B) 千葉県野田市 岐阜県 土岐市 飛騨市 美濃市 愛知県日進市 (C) 2人	(D) 豊田市 日進市 一般・会員 (E) 102人	5,640,079円
⑤生活困窮者等 就労準備支援、 社会的包摂推 進に係る事業	来て見て笑って 「親子行こリズム」 日進市内在住の一 人親家庭の生活等 困りごとなど支援	(A) 2022年(R4) 8月22日 12:00～13:00 (B) 日進市民会館 ホワイエ展示場 (C) 1人	(D) 日進市民及 び関係諸機関 (E) 20人 ※全体306名 (招待185名 一般121名)	0円

(2) 総費用

総合計 5,640,079円

人件費用

(内訳)

- ・正会員従事者(2人)
- ・法定福利費(事) 88,762円
- ・給料手当 4,845,607円
(3,858,432円/12か月分)
(987,175円/12か月分)

その他経費

- ・消耗品費 21,168円
- ・賃借料 25,200円
- ・保険料 1,650円
- ・印刷製本費 8,890円
- ・法定福利費(管) 525,579円
- ・租税公課 6,000円
- ・広告宣伝費 3,362円
- ・通信費 110,496円
- ・旅費交通費 2,020円
- ・支払い手数料(管) 1,345円

(3) 収益

総合計 5,151,008円

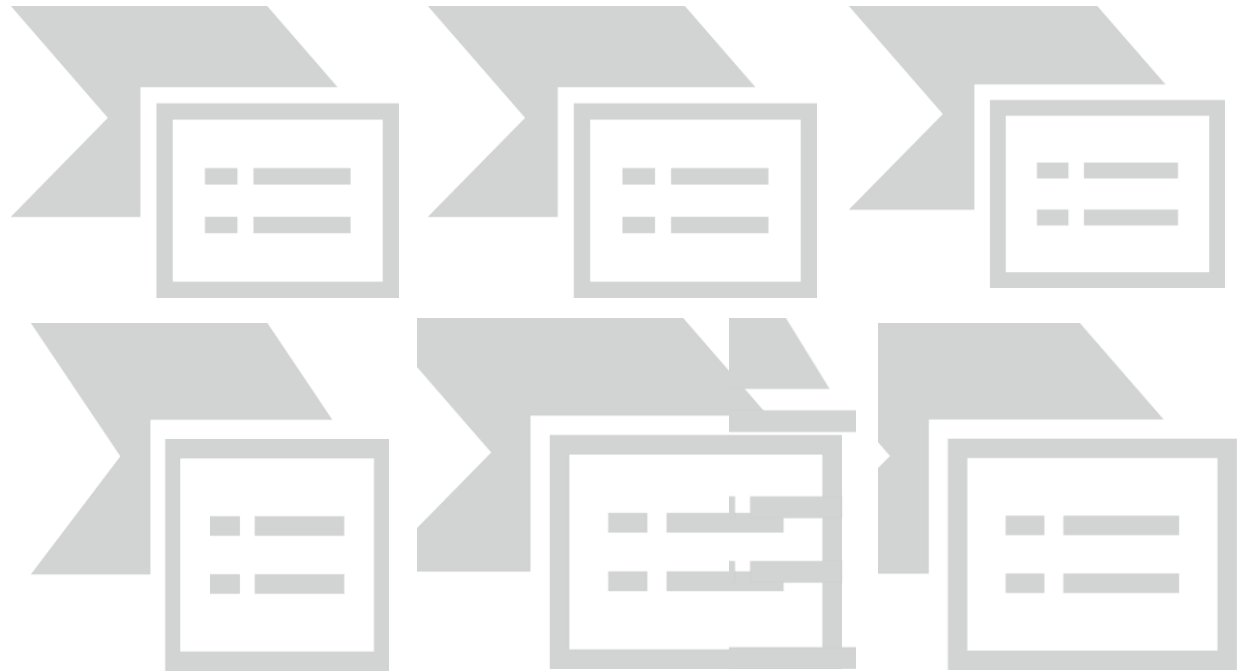
(内訳)

- 各支部、エリア指導料 5,151,008円
- 日進市 3,000,000円
- 千 葉 1,200,000円
- 岐 阜 951,000円
- 受取利息 8円

(4) 反省点・改善ポイント

日進市生活困窮者等就労準備支援事業受託と、各地区の業務提携指導料により、収入増。支援体制の充実と損益の赤字事業を解消する為、更に日進市受託料の増額と新規事業受託における各支部エリアの利益収入を上げる事が必要。

協力団体として企画段階より携わってきたが最終的にホワイエでの団体出展は12:00～13:00の1時間で対応する事となる。日進市市長を始め親子20名程度は写真展を楽しまれた。地域連携や協力で出展する場合の形態や体制を今後見直す必要がある。



(オ) 事業内容

「令和3年度 日進市市民自治活動推進補助金事業（地域福祉課提案啓発事業）」

社会問題化する社会的孤立、ひきこもりや生活困難を抱える若者の実態を知り理解を深め、近隣自治体を含む支援関係諸機関のつながりを創るための交流会として開催。

内容としては専門家による基調講演、愛知県による生活困窮者自立支援制度の説明、日進市における自立相談支援や「いくるばにっしん」就労準備支援事業等の事例発表の後、活発な質疑応答のある意見交換会となり目的である有意義な交流会となる。

(カ) ⑤生活困窮者等就労準備支援、社会的包摂推進に係る事業 その他

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
------------------------	----------	--	----------------------------	-----------------

⑤生活困窮者等 就労準備支援、 社会的包摂推 進に係る事業 (その他)	日進市で誰ひとり取 り残さない持続可能 な地域共生社会を目 指して「生活困難を抱 える若者や引きもり などの支援に関する 交流会」開催 日進市市民自治推進 補助金事業 (地域福祉課協働)	(A) 2022年(R4) 1月28日 13:45~16:20 (B)日進市中央 福祉センタ ー多機能室 (C) 5人	(D)日進市福祉 団体関係 諸機関及 び近隣自 治体 (E) 30人 ※内会員2人	64,285円
---	--	---	---	---------

(2) 総費用

総合計 64,285円

(内訳)

・諸謝金	40,000円	・支払手数料	209円
・印刷製本費	7,520円	・広告宣伝費	15,000円
・消耗品費	1,556円		

(3) 収益

総合計 64,000円

(内訳)

市民協働課 補助金 64,000円

(4) 反省点・改善ポイント

コロナ禍蔓延防止法が発令され参加を見合わせる自治体や企業法人もいたが、参加して頂きたい主な諸機関は参加。基調講師や事例発表者による持ち時間オーバーで意見交換の時間が短くなる。事前に再度持ち時間の確認や後方より残存時間を目視できるタイムカードを用意する対応が必要。



(ア) ⑥食育を推進する事業

※ 講師等役職名前は敬称略

(イ) 事業内容

食育を推進する事業として、農林水産省食料産業、6次産業化交付金事業として、シンポジウム、教育ファーム検討委員会を開催。また、愛知で開催された食育全国大会に初参加した。

食育イベントは、毎年恒例の食育感謝祭を開催。

食育関係として、アーモンドまつり、にっしん夢まつり、にっしん市民まつりにそれぞれ

初参加。

今年度も、食育、食農、環境の4大イベントの食事提供を行う。日進アグリスクールは、米作りコースとベジたんぼ鍋創りコースの集大成として、今年も共食ワークショップを開催。伝統料理講座では、大根まるごと1本を使う講座を実施した。

(ウ) 事業内容 食育推進

令和3年度食料産業・6次産業化交付金（地域での食育の推進事業）事業として“未来へつなぐ食生活と農業に関するシンポジウム2022 in につしん”と題し開催。

一般県民に対し、食生活の課題や地域農産物の現状を伝え、毎日の食事が自然の恩恵の上に成り立ち、生産者をはじめ多くの関係者により食が支えられていること、地域農産物の地産地消への関心を高められた内容は、ドキュメンタリー映画『もったいないキッチン』の上映会・長野県立大学教授

中澤 弥子氏の講演や『未来へつなぐ、持続可能な食育、食農、共育とは』をテーマとした対談を講師他数名で行った。

(エ) ⑥食育を推進する事業 食育推進

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥ 食育を推進する事業 (食育推進)	(農林水産省、愛知県地域での食育の推進事業)「未来へつなぐ食生活と農業に関するシンポジウム2022 in につしん」として映画上映、講演会、パネルディスカッションを実施	(A) 2022年(R4) 3月6日 13:00~16:45 (B) 日進市民会館 小ホール (C) 13人	(D) 一般市民 (E) 82人	400,549円

(2) 総費用（無償ボランティア 13人）

総合計 400,549円

(内訳)

・ 諸謝金	56,000円	・ 保険料	3,000円
・ 通信運搬費	7,448円	・ 支払手数料	880円
・ 消耗品費	13,771円	・ 広告宣伝費	81,140円
・ 賃借料	112,400円	・ 雑給	59,210円
・ 印刷製本費	16,700円	・ 仕入NPO	50,000円

(3) 収益

総合計 120,700円

(内訳)

・ 一般大人（高校生以上）前売り	97,200円（1,800円×54人）
・ 一般大人（高校生以上）当日	14,000円（2,000円×7人）
・ 学生	9,500円（500円×19人）

(4) 反省・改善ポイント

基調講演の講師選定に時間がかかり遅くなる。

学生の参加費を改定した事と里芋の無料プレゼントにより新たな参加者を発掘できた。

前回のリモート開催で音声の問題があったが、今回は問題も解消され順調に実施。



(オ) ⑥ 食育を推進する事業 食育推進

(カ) 事業内容

「第17回食育推進全国大会 in あいち」に出展。

今回初めて食育推進全国大会に出展。にしん五平餅の地域ブランド化と日進アグリスクールや当会が推進する食育・食農活動の啓発を目的に、にしん五平餅づくり体験や日進アグリスクールのパネル展示を実施。

(キ) ⑥食育を推進する事業 食育推進

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育推進)	第17回食育推進全国大会 in あいち 五平餅作り体験 日進アグリスクール パネル展示	(A) 2022年(R4) 6月18日 13:00～16:45 (B) 愛知国際展示場 (C) 22人	(D) 全国民 (E) 不特定多数	17,514円
⑥食育を推進する事業 (食育推進)	第17回食育推進全国大会 in あいち 五平餅作り体験 日進アグリスクール パネル展示	(A) 2022年(R4) 6月19日 10:00～16:00 (B) 愛知国際展示場 (B) (C) 22人	(D) 全国民 (E) 不特定多数	17,518円

(2) 総費用(無償ボランティア 27人)

総合計 35,032円

(内訳)

18日	・仕入NPO	7,259円	・消耗品費	10,255円
19日	・仕入NPO	7,261円	・消耗品費	10,257円

(3) 収益

総合計 58,000円
(内訳)

18日	500円×42本=21,000円	19日	500円×44本=22,000円
			500円×6本=3,000円
			300円×40本=12,000円
			計 37,000円

※18日35名体験 19日82名体験

(4) 反省・改善ポイント

全国からの来場もあり、五平餅を知らない参加者がいた。はじめは集客方法やPOP、価格設定などの課題もあり参加者が少ない状況が続いたが、試行錯誤を繰り返すことで多くの来場客が五平餅作りの体験。

(ク) ⑥食育を推進する事業 食育推進

(ケ) 事業内容

令和3年度農林水産省食料産業、6次産業化交付金、令和4年度農林水産省消費・安全対策交付金、令和3、4年度愛知県 地域での食育の推進事業を受け実施。食や農業への理解を深めてもらう農業体験機会を提供、昨年度に続き日進市で教育ファーム検討委員会を開催し、充実したプログラム企画開発を図った。

日進アグリスクールで稲作や里芋の栽培に興味ある農業体験希望者を募り、田植えから収穫迄の稲作体験と種蒔きから収穫迄の里芋栽培体験と収穫。里芋で作るベジたんぽ鍋を試験実施。最後に収穫した農作物を活用し、食育、共食ワークショップを実施。

生産者の指導を受けながら、大人も子供も一連の農作業や伝承農法等を体験、地域の農業や田畑での洪水防止治水機能、生物多様性保全、食を通じた環境への配慮、地域の食文化や伝統文化の継承等農業を伝える。

又、令和3年度の第4回、令和4年度第3回には、第3次日進市食育推進計画について日進市農政課より説明。

伏せて、第4次愛知県食育推進計画（あいち食育いきいきプラン2025）について愛知県食育消費流通課より説明があった。

又、愛知県立大学より教育型インターンシップにて令和3年度が1名、令和4年度が2名参加している。

(コ) ⑥食育を推進する事業 食育推進

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育推進)	(農林水産省、食料産業・6次産業化交付金) 令和3年度	(A) 2022年(R4) 1月11日 10:00～11:45	(D) 日進市職員、日進市市民など	1,866円

	第4回教育ファーム 検討委員会	(B) 日進市民会館 (C) 5人	(E) 14人	
⑥食育を推進 する事業 (食育推進)	(農林水産省、食料 産業・6次産業化交 付金) 令和3年度 第5回教育ファーム 検討委員会	(A) 2022年(R4) 3月6日 10:00～11:00 (B) 日進市民会館 (C) 5人	(D) 日進市職 員、日進市 市民など (E) 14人	134,010円
⑥食育を推進 する事業 (食育推進)	(農林水産省、食料 産業・6次産業化交 付金) 令和4年度 第1回教育ファーム 検討委員会	(A) 2022年(R4) 10月19日 10:00～11:45 (B) 日進市民会館 (C) 3人	(D) 日進市職 員、日進市 市民など (E) 11人	8,945円
⑥食育を推進 する事業 (食育推進)	(農林水産省、食料 産業・6次産業化交 付金) 令和4年度 第2回教育ファーム 検討委員会	(A) 2022年(R4) 11月24日 10:00～11:45 (B) 日進市民会館 (C) 4人	(D) 日進市職 員、日進市 市民など (E) 12人	3,350円
⑥食育を推進 する事業 (食育推進)	(農林水産省、食料 産業・6次産業化交 付金) 令和4年度 第3回教育ファーム 検討委員会	(A) 2022年(R4) 12月22日 10:00～11:45 (B) 日進市民会館 (C) 3人	(D) 日進市職 員、日進市 市民など (E) 14人	2,080円

(2) 総費用（無償ボランティア 20人）

総合計 150,251円

(内訳)

・旅費交通費	6,500円	・賃借料	9,180円
・通信運搬費	240円	・印刷製本費	6,260円
・消耗品費	8,071円	・諸謝金	120,000円

(3) 収益

総合計 0円

(内訳)

(4) 反省点・改善ポイント

令和3年度も愛知県立大学のインターンシップ生の受け入れを行う機会を得た。
愛知県食育消費流通課より第4次愛知県食育推進計画（あいち食育いきいきプラン2025）
の説明を受けより理解を深めた。今年度は国、県、市とつながる食育推進計画について学ぶこ
とができ新たな食育、食農による共育プログラム開発を推進。

令和4年度も愛知県立大学のインターンシップ生の受け入れを行う機会を得た。
愛知県と日進市より食育推進計画の説明を受け食育に対しての理解を深めた。



(サ) 事業内容

令和4年度農林水産省交付金事業を受託し行った。シンポジウムや教育ファーム検討委員会のほかに伝統料理講座を開催し食文化の継承や地産地消、親子でも調理体験の必要性を伝える。

(シ) ⑥食育を推進する事業 食育推進

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育推進)	令和4年度 農林水産省 交付金事業	(A) 2022(R4) 1月1日～ 12月31日 (B) 愛知県内 (C) 15人	(D) 全国民 (E) 不特定多数	0円

(2) 総費用（無償ボランティア 15人）

総合計 0円

(3) 収益

総合計 291,000円

(内訳)

(4) 反省・改善ポイント

子育て世代をターゲットに集客を進めていく。

チラシ データでの案内を進め、環境を考えて紙は減らす。

(ス) ⑥食育を推進する事業 食育イベント

(セ) 事業内容

「第1回食育イベント 食農感謝祭」を開催

第1回食育イベントを「大自然の恵みに感謝『食農感謝祭』 杵や臼を使ってお餅をつこう！和太鼓演奏をきいて、体験しよう！」と題し開催。昔ながらの杵や臼を使った餅つきを完全オーガニックで栽培したもち米を使い実施。餅を丸める体験や松ぼっくりツリー作り、足踏み脱穀機を使用した脱穀体験を実施。和太鼓グループT UWAMONO彩の和太鼓演奏、和太鼓体験会も行う。イベント冒頭には当会の活動紹介。今回は野菜の生育状況が良くなかったため、料理の品数を減らした。また、開催時間も短縮し料金設定も変更。

食事は味噌汁、大根の紅白なます、野菜の天ぷら、手作りきな粉等当会で育てた野菜を使った料理を提供。和太鼓演奏は参加者参加型で子供達は、とても楽しんでた。松ぼっくりツリーも個人個人がオリジナリティあるものを作製。参加者はお腹も心も満たされ大変喜ばれた。

(ソ) ⑥食育を推進する事業 食育イベント

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進 する事業 (食育 イベント)	「第1回食育イベント 食農感謝祭」を開催 杵と臼を使用した昔な がらのもちつき、もち まるめ、松ぼっくりツ リー作り。T UWAM ONO彩様の和太鼓演 奏、和太鼓体験会、足踏 み脱穀	(A) 2022(R4) 12月4日 10:00～ 13:30 (B) 豊田市猿投 町当会研修施 設 (C) 13人	(D) 自然との 共生に、安 心安全な 食育・食農 に関心が ある市民、 会員 (E) 43人	2,904円

(2) 総費用 (無償ボランティア 13人)

総合計 2,904円

(内訳)

- ・通信運搬費 504円
- ・保険料 1,200円
- ・賃借料 1,200円

(3) 収益

総合計 39,500円

(内訳)

- ・一般大人 (高校生以上) 23,800円 (1,700円×14人)
- ・会員大人 (高校生以上) 3,600円 (1,200円×3人)
- ・中学生 1,400円 (700円×2人)
- ・小学生以下 1,600円 (200円×8人)
- ・未就学児 (3歳以下) (0円×3人)
- ・スタッフ 9,100円 (700円×13人)

(食事代 希望者のみ)

(4) 反省・改善ポイント

豊田市での稲刈りの参加家族や日進アグリスクールやぐるぐるNISSHINまちミル博覧会イベント参加の家族が参加。各イベントでの対面での告知が集客UPにつながった。



(タ) 事業内容

豊田市で開催している食育、食農、環境イベントにて、薬膳的効能を考慮した食事の提供を行った。材料は当会で栽培した完全オーガニックの米や野菜を使用。参加者には毎回おいしかったと好評を得ている。野菜嫌いの子どもたちが食べれるようになる姿が印象的だった。

(チ) ⑥食育を推進する事業 食育関係

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育関係)	食育関係 イベントの残り調味料販売と必要消耗品の購入	(A) 2022 (R4) 1月1日～ 12月31日 (B) 豊田市猿投町 農事専従者寮 (C) 5人	(D) 会員 (E) 10人	3,343円

(2) 総費用

総合計 3,343円

(内訳)

・消耗品費 3,343円

(3) 収益

総合計 7,000円

(内訳)

(ツ) 事業内容

アーモンドまつりにブース出店。

名古屋ふらんす（名古屋お土産菓子メーカー）井桁堂グループ（本社豊田市）からの申し出がありブース出店。3種類のクッキー（うるち米と峰のむらさきの米粉、味噌）やパンを新作、販売。

(テ) ⑥食育を推進する事業 食育関係

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育関係)	アーモンドまつり ブース出店	(A) 2022 (R4) 3月26日 (B) サロン・ド・テ 名古屋ふらんす	(D) 名古屋、 長久手 周辺 住民他	12,657円

		あさひ長久手店 (C) 12 人	(E) 多数	
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	アーモンドまつり ブース出店	(A) 2022 (R4) 3月27日 (B) サロン・ド・テ 名古屋ふらんす あさひ長久手店 (C) 12 人	(D) 名古屋、 長久手 周辺 住民他 (E) 多数	12,663 円

(2) 総費用 (無償ボランティア 12人)

総合計 25,320円

(内訳)

3/26 合計 12,657円

・仕入高NPO 7,466円

・消耗品費 4,736円

3/27 合計 12,663円

・仕入高NPO 7,467円

・消耗品費 4,741円

・新聞図書費 455円

・新聞図書費 455円

(3) 収益

総合計 44,600円

3/26 16,580円

3/27 28,020円

(4) 反省・改善ポイント

今回、新作をつくるにあたり、施策をかなり重ね、店舗をお借りして初めて使うオープンの感覚をつかむまでの苦労があった。

名古屋ふらんすのアーモンドと当会のうるち米や峰のむらさきの米粉を使ったクッキー、また当会の米ぬかと藤の赤豆みそを使ったクッキーを体にやさしいお菓子として、広報販売した。

(ト) 事業内容

豊田市で開催している食育、食農、環境イベントにて、薬膳的効能を考慮した食事を提供。材料は当会で栽培した完全オーガニックの米や野菜を使用。参加者には毎回おいしかったと好評を得た。野菜嫌いの子どもたちが食べられるようになる姿が印象的である。

(ナ) ⑥食育を推進する事業 食育関係

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位： 円)
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	親子で楽しむ♪ 食農・食育体験 むらさきのお米の 田植えをしよう！ を当会豊田市圃場	(A) 2022 (R4) 5月8日 9:30～13:00 (B) 猿投棒の会館 裏当会圃場	(C) 自然との共生 に、安心安全 な食育・食農 に関心がある 市民、会員	34,337 円

	にて開催。	(C) 14 人	(E) 33 人	
⑥食育を推進 する事業。 (食育関係)	第 2 回環境イベン ト 『自然と共生する 田んぼで生き物み つけ』を開催。	(A) 2022 (R4) 8月7日 9:30~13:00 (B) 豊田市猿投 棒の手会館 裏当会圃場 (C) 15 人	(D) 愛知県 一般、会員 (E) 50 人	24,438 円
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	昔ながらの稲刈り 体験と完全オーガ ニックのお米、お味 噌を使った五平餅 作りを当会豊田市 圃場にて開催	(A) 2022 (R4) 10月2日 9:30~13:00 (B) 豊田市猿投 棒の手会館 裏当会圃場 (C) 12 人	(D) 自然との共 生に、安心 安全な食育 ・食農に関 心がある市 民、会員 (E) 55 人	23,405 円
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	食農感謝祭 杵と臼を使用した 昔ながらのもちつ き、もちまるめ、松 ぼっくりツリー作 り。TUWAMON O彩様の和太鼓演 奏、和太鼓体験会、 足踏み脱穀	(A) 2022 (R4) 12月4日 10:00~13:30 (B) 豊田市猿投町 当会研修施設 (C) 13 人	(D) 自然との共 生に、安心 安全な食育 ・食農に関 心がある市 民、会員 (E) 57 人	48,593 円

(2) 総費用 (無償ボランティア 54人)

総合計 130,773円

(内訳)

○食育関係 田植え体験 (5/8)	34,337円	
・仕入高NPO 28,860円		・消耗品費 5,477円
○食育関係 生き物調査 (8/7)	24,438円	
・仕入高NPO 23,500円		・消耗品費 1,938円
○食育関係 稲刈り (10/2)	23,405円	
・仕入高NPO 17,121円		・消耗品費 6,284円
○食育関係 食農感謝祭 (12/4)	48,593円	
・仕入高NPO 40,228円		・消耗品費 8,365円

(3) 収益

総合計 148,200円

(内訳)

○食育関係 田植え体験 (5/8)	29,600円	
・一般大人 (高校生以上)	13,600円 (	800円×17人)

・小中学生	3, 200 円 (800 円× 4人)
・未就学児	1, 600 円 (800 円× 2人)
・スタッフ	11, 200 円 (800 円×14人)
○食育関係 生き物調査 (8/7)	36, 000 円
・一般大人 (高校生以上)	15, 200 円 (800 円×19人)
・小中学生	8, 000 円 (800 円×10人)
・未就学児	4, 000 円 (800 円× 5人)
・スタッフ	8, 800 円 (800 円×11人)
○食育関係 稲刈り (10/2)	41, 600 円
・一般大人 (高校生以上)	18, 400 円 (800 円×23人)
・小中学生	7, 200 円 (800 円× 9人)
・未就学児	6, 400 円 (800 円× 8人)
・スタッフ	9, 600 円 (800 円×12人)
○食育関係 食農感謝祭 (12/4)	41, 000 円
・一般大人 (高校生以上)	14, 000 円 (1, 000 円×14人)
・会員	3, 000 円 (1, 000 円× 3人)
・中学生	2, 000 円 (1, 000 円× 2人)
・小学生以下	8, 000 円 (1, 000 円× 8人)
・3歳児以下	1, 000 円 (1, 000 円× 1人)
・スタッフ	13, 000 円 (1, 000 円×13人)

(4) 反省・改善ポイント

昨年同様に、コロナ感染予防として、ワークショップは中止とし、持ち運びのできる使い捨て容器にて昼食を提供する。ソーシャルディスタンスを保つために昼食を食べる場所が広域となり、食育についての説明が伝えづらく、工夫が必要。



(二) 事業内容

「にっしん夢まつり」に出店

今年からにっしん夢まつりに出展。にっしん五平餅の地域ブランド化を目的ににっしん五平餅の販売や日進アグリスクールのパネル展示を実施。

(ヌ) ⑥食育を推進する事業 食育関係

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (食育関係)	にっしん夢まつり 五平餅の販売と活動 初回パネル展示	(A) 2022(R4) 9月18日 9:00～19:30 (B) 日進市役所 (C) 5人	(D) 日進市民など (D) 不特定多数	60,955円

(2) 総費用（無償ボランティア 5人）

総合計 60,955円

(内訳)

・仕入高NPO	14,913円	・賃借料	11,000円
・諸会費	5,000円	・消耗品費	20,092円
・保険料	2,800円	・支払手数料	7,150円

(3) 収益

総合計 50,500円

(内訳)

・にっしん五平餅販売	500円×101本=50,500円
------------	-------------------

(4) 反省・改善ポイント

初めて出店で五平餅の販売必要数が推測できず101本用意し3時間ほどで完売。他の出店者の値段設定も分からず500円としたが、問題なく販売した。

(ネ) 事業内容

「日進アグリスクール 共食ワークショップ」を開催

日進アグリスクールの米づくり体験コースとにっしんベジたんぼ鍋創り（6次産業）コースの共同開催として共食ワークショップを開催。

きりたんぼ用の竹串を小刀や紙やすりを使って作製。自分で作った竹串を使ってきりたんぼの成型、薪割り、火つけ体験、里芋重量当てクイズ、アグリスクール一年の振り返り、活動パネルの展示を行う。火つけ体験や竹串作りなど災害時でも対応できる体験や調理体験など行うことで食育、食農、共育の大切さを伝えた。

(ノ) ⑥食育を推進する事業 食育関係

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
--------------------	----------	--	------------------------	-----------------

⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	共食ワークショップ 一年間の振り返り 米作り・里芋コース 合同。 竹串作り、きりたんぼ 整形、火起こし、体験 コースの一年の振り返り、脱穀機などの展示。	(A) 2022 (R4) 11月6日 (B) 日進市 総合運動公園 (C) 12 人	(D) 一般市民 (E) 71 人	51,456 円
--------------------------	--	---	----------------------	----------

(2) 総費用 (無償ボランティア 12人)

総合計 51,456 円

(内訳)

・仕入高NPO 28,608 円

・消耗品費 22,848 円

(3) 収益

総合計 69,600 円

(内訳)

・参加費 (食事代) 800 円×87 人=69,600 円

(4) 反省・改善ポイント

参加者、スタッフ、ボランティアを合わせると90人の参加となった。ベジたんぼ鍋は初めてのこともあり、前日は深夜遅くまでの準備となる。準備や段取りについて早めに終わるよう改善する。

(ハ) 事業内容

今年からにっしん夢まつりに出展。にっしん夢まつりに引き続き、にっしん五平餅の地域ブランド化を目的に、にっしん五平餅の販売や日進アグリス쿨のパネル展示を実施。

(ヒ) ⑥食育を推進する事業 食育関係

「にっしん市民まつり」に出店

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進 する事業 (食育関係)	にっしん市民まつり 五平餅の販売と活動 初回パネル展示	(A) 2022 (R4) 11月20日 9:00～15:00 (B) 日進市役所 (C) 5 人	(D) 日進市 市民など (E) 不特定 多数	18,598 円

(2) 総費用 (無償ボランティア 5人)

総合計 18,598 円

(内訳)

- ・仕入高NPO 7, 512円
- ・消耗品費 5, 586円
- ・賃借料 5, 500円

(3) 収益

総合計 58, 000円

(内訳)

- ・にしん五平餅販売 500円×116本=58, 000円

(4) 反省点・改善ポイント

初めて出店で五平餅の販売必要数が推測できず116本用意。にしん夢まつりと同様に3時間ほどで完売。200円で五平餅を販売しているブースもあったが、告知時に完全オーガニック無農薬のお米を使用しているなどの理由を説明することで販売につながった。

(フ) 事業内容

令和4年度消費、安全対策交付金（地域での食育の推進事業）事業の伝統料理講座を“にしん大根まるっと定食を作ろう”と題し開催。地産地消の推進と農林水産業の役割と理解の促進、郷土料理等の地域の食文化の継承。県民一人ひとりが食の大切さを理解し主体的に食育に取り組めることを目的に実施。内容は、菜飯、ふろふき大根、大根の皮のきんぴら、味噌汁の調理体験、出汁とりや野菜の切り方の講座など実施。

(へ) ⑥食育を推進する事業 食育伝統料理講座

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位：円)
⑥食育を推進する事業 (伝統料理)	令和4年度消費・安全 対策交付金 (地域での食育の 推進事業) にしん大根 まるっと定食を作ろう	(A) 2022(R4) 11月27日 10:00～13:00 15:00～18:00 (B) 日進市民会館 調理実習室 (C) 9名	(D) 一般市民 (E) 12名	71,661円

(2) 総費用（無償ボランティア 5人）

総合計 71, 661円

(内訳)

- ・仕入高NPO 11, 444円
- ・消耗品費 2, 737円
- ・保険料 900円
- ・諸謝金 31, 000円
- ・賃借料 20, 100円
- ・広告宣伝費 3, 510円
- ・旅費交通費 1, 970円

(3) 収益

総合計 24, 000円

(内訳)

- ・参加費 2, 000円×12人=24, 000円

(4) 反省点・改善ポイント

集客が難しく、2部制に急遽変更し増員となる。小学生以上が対象の為、対象範囲の変更を検討する。



(ア) ⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業

(イ) 事業内容

その他この法人の目的を達成するために必要な事業として、市民農園の管理運営を継続。また、青空交流会（土づくり、野菜づくり）を年2回開催。

協働事業としては、日進アグリスクールを継続。米づくりコース、ベジたんぽ鍋コースの2コースを実施。

また、ぐるぐるNISSHINまちミル博覧会博覧会に参加。里芋収穫の企画を実施。

(ウ) 事業内容

豊田市協働事業として始めたが、2016年度に助成金対象期間が終了。8期を迎えた2016年度から当法人単独での事業運営となり市民農園指導教室を年2回開講。今年度は管理担当の江譲二が講師を務め、市民農園マザリーアースを青空会場にして契約者している方対象に有料で農業の普及活動として開催。また、氣力野菜の試食会を行った。

今年度は、環境イベントを通じて、契約者が増えている。

(エ) ⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 市民農園

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧前各号の事業を 遂行するために 必要な事業 (市民農園)	市民農園	(A) 2022年(R4) 1月から12月迄 随時受付 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 5人	(D) 豊田市 一般・会員 (F) 17人	98,332円
⑧前各号の事業を 遂行するために 必要な事業 (市民農園)	土づくり 青空交流会	(A) 2022年(R4) 5月29日 10:00～12:30 (B) 市民農園	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 8人	1,706円

		マザリーアース (C) 3人		
⑧前各号の事業を 遂行するために 必要な事業 (市民農園)	野菜づくり 青空交流会 (9月26日から 変更して開催)	(A) 2022年(R4) 11月13日 10:00~12:30 (B) 市民農園 マザリーアース (C) 2人	(D) 豊田市 一般・会員 (E) 9人	2,499円

(2) 総費用 (無償ボランティア 10人)

総合計 102,537円 (98,332円+1,706円+2,499円)

(内訳)

- ・ 諸謝金講師料 0円 (2人無料)
- ・ 通信費 3,759円
- ・ 消耗品費 29,600円
- ・ 地代家賃 7,812円
- ・ 仕入高NPO 1,263円
- ・ 支払手数料 60,000円
- ・ 銀行手数料(管) 103円

(3) 収益

総合計 183,282円 (8,400円+171,882円+3,000円)

(内訳)

- ・ 市民農園セミナー参加料 (延べ14人) 8,400円
- 1回目 利用者 600円× 8名= 4,800円
- 2回目 利用者 600円× 6名= 3,600円
- ・ 市民農園利用料 (17人) 171,882円
- 1区画利用者 5,500円× 13名= 71,500円 (13区画)
- 2区画利用者 11,000円× 5名= 55,000円 (10区画)
- 3区画利用者 16,500円× 2名= 33,000円 (6区画)
- 4区画利用者 22,000円× 1名= 22,000円 (4区画)
- ・ 前受金2022年1~3月分 26区画分差引 35,724円
- ・ 前受金2023年1~3月分 33区画分差引 ▲45,342円
- ・ 耕運代金 3,000円 (1,500円×2)

(4) 反省点・改善ポイント

人数は少ないが、ソーシャルディスタンスを保つのが難しいので常に声掛けが必要。

集客についてはDM中心に行う事で、リピートにつながったが参加人数が少ないので、市民農園に作業に来られた際にも早めの告知が必要。

お一人お知らせハガキが戻って来た。住所変更になったら現場での声掛けや、事務局から管理担当者へ連絡が必要。

集客については、現場での声掛けやDMを出す事で、リピートに繋げる。



(オ) 事業内容

日進市の委託事業として『日進アグリスクール米作り体験コース2022』を5月22日(日)の『どろリンピック&田植え』より開催。田んぼ内での徒競走や泥遊び、田植えを実施。

7月31日(日)には、第2回目の『自然観察・生き物観察』を開催。除草のレクチャー稲の成長状況を説明。田んぼに生えている草を調査する為、「デドールビンゴ」を行う。

その後、生き物観察をして捕まえた生き物の発表会を行った。

9月25日(日)には、第3回目の「稲刈り、はざかけ」は自分たちで栽培したお米を収穫した。昔ながらの手鎌での稲刈りはざかけ伝えすることにより、農業の大変さや収穫の喜びや感謝、食農と共育の大切さを伝える良い機会となった。

10月9日(日)には、第4回目の「足踏み脱穀、わらリンピック」を開催。昔ながらの足踏み脱穀機を使用した脱穀方法やわらとり等を行った。わらリンピックと題し、わらなげ競争、わらを使った二人三脚風リレーを実施。

(カ) ⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の 実施日時 (B)当該事業の 実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者 の範囲 (E)人数	事業費の額 (単位:円)
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第1回 米作りコース どろリンピック &田植え	(A)2022年(R4) 5月22日 (B)日進市当会圃場 (C)7人	(D)一般市民 (E)55人	440円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第2回 6次産業 米作りコース 自然観察・生き物調査	(A)2022年(R4) 7月31日 (B)日進市当会圃場 (C)8人	(D)一般市民 (E)31人	0円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第3回 米作りコース 稲刈りとはざかけ。	(A)2022年(R4) 9月25日 (B)日進市当会圃場 (C)8人	(D)一般市民 (E)47人	0円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業	第4回 米作りコース 足踏み脱穀、 わらリンピック	(A)2022年(R4) 10月9日 (B)日進市当会圃場 (C)8人	(D)一般市民 (E)38人	9,033円

(協働事業)				
--------	--	--	--	--

(2) 総費用（無償ボランティア31人）

総合計 9,473円

(内訳)

・消耗品費 9,473円

(3) 収益

総合計 469,150円

(内訳)

・事業収益 469,150円

(4) 反省点・改善ポイント

本年も広報にっしんや日進市のサイトやメールにて集客を実施。ふるさと納税者申し込みはなし。汚れるのが苦手な子供もいたが、自然と慣れていく様に誘導をした。生き物調査は田植え体験と比べると人数が半分近く減少した。夏休みに入り色々と行事が重なったと思われる。

昨年は緊急事態宣言発令の為ボランティア参加で体験されたが、今回は無事に開催。体験学習が減ってきている中でのイベントは参加者にとっても有意義なものになっている。

緊急事態宣言明けのイベントという事も有り、参加者が増加した。

世間的に体験型イベントが中止になっていた事も影響している。

参加者、スタッフ、ボランティアを合わせると90人の参加。ベジたんぼ鍋は初めてのこともあり、前日は深夜遅く迄の準備となる。準備や段取りについて早めに終わるよう改善する。



(キ) 事業内容

日進市の委託事業として愛知の伝統野菜の里芋『八名丸』栽培からベジたんぼ創り迄を体験する「にっしんベジたんぼ鍋創りコース2022」を4月17日（日）の『畑づくり、植え付け』より開催。ESD総合共有プロジェクト、共有ファームの意義を説明し、にっしん体操をみんなで行った。その後、農事業部の山田義隆より道具の使い方のレクチャーを行い、畝たてを行い、里芋を植え付け。

6月5日（日）には、第2回目の『管理作業』を開催、4月に植えた種芋の経過観察、草刈り、芽かき、施肥、土寄せ、草マルチを実施。同時進行で前回参加出来なかった方向けに里芋の植付を実施。

9月4日（日）には、第3回目の『植え付け、管理作業』を開催。前半は、方領大根や八事五寸人参、愛知白菜等愛知県の伝統野菜の種まきなどを実施。後半は、里芋の管理作業で、草刈り、刈った草を根元に置く作業やきゅうり、なすやしし唐などの夏野菜の収穫を体験。

10月23日（日）には、第4回目の『収穫、試食』を開催。自分達で育てた里芋を収穫し、その場で焼き里芋にして提供。収穫のレクチャーは農事業部にて実施。

11月6日（日）には、最終回として日進アグリス쿨の米づくり体験コースとにっしんベジたんぼ鍋創り（6次産業）コースの共同開催として『共食ワークショップ』を開催。

自分達の育てた農作物を食する事で、食育、食農・共育の大切さを伝える事が出来た。農業を体験する事で子供たち作物を育てる大変さ作物への愛情をかける事の大切さ知る良い影響となった。最後の共食ワークショップでは里芋を普段食べない子供でも食べる事が出来ていたと喜ばれた。

(ク) ⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者 の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第1回 6次産業コース 畑づくり、植え付け	(A) 2022年(R4) 4月18日 (B) 日進市当会圃場 (C) 4人	(D) 一般市民 (E) 13人	9,018円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第2回 6次産業コース 管理作業Ⅰ	(A) 2022年(R4) 6月5日 (B) 日進市当会圃場 (C) 5人	(D) 一般市民 (E) 18人	4,034円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第3回 6次産業コース 土寄せ&植付	(A) 2022年(R4) 8月22日 (B) 日進市当会圃場 (C) 6人	(D) 一般市民 (E) 16人	1,000円
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	第4回 6次産業コース 収穫、試食	(A) 2022年(R4) 10月23日 (B) 日進市当会圃場 (C) 7人	(D) 一般市民 (E) 14人	3,170円

(2) 総費用（無償ボランティア 22人）

総合計 17,222円

(内訳)

・消耗品 16,222円 ・車両費 1,000円

(3) 収益

総合計 469,150円

(内訳)

・事業収益 469,150円

(4) 反省点・改善ポイント

例年通り集客が難しかったが、申し込みは21名あった。昨年から引き続きの参加者や昨年米作り体験コースに参加されたご家族もみえたので着実にリピーターは増えている。

農作業が不慣れな方もおり小まめに給水や休憩を摂る様にする。家族間での繋がりも出来良い会となっている。

夏野菜収穫する事が出来、作物を育てる喜びや食農の大切さを伝える良い機会となった。

里芋掘りは毎年重量があるので準備体操等をし怪我が起きない様にする。



(ケ) 事業内容

「ぐるぐるNISSHINまちミル博2022」プログラムとして、完全オーガニックの里芋を収穫して食べよう♪を開催。

昨年に引き続き、日進アグリスクール等で栽培した里芋を収穫し、その場で焼き里芋にして提供。収穫のレクチャーは農事事業部にて実施。

(コ) ⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 協働事業

(1) 開催日及び講師等

事業名 (定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	ぐるぐる NISSHIN まちミル博覧会 2022 完全オーガニックの 里芋を収穫して食べよう♪	(A) 2022年(R4) 11月20日 14:00~16:00 (B) 日進市当会圃場 (C) 5人	(D) 一般市民 (E) 23人	3,050円

(2) 総費用(無償ボランティア 5人)

総合計 3,050円

(内訳)

・保険料	1, 0 5 0 円	・支払手数料	2, 0 0 0 円
(3) 収益			
総合計	2 8, 0 0 0 円		
(内訳)			
・一般大人（高校生以上）	2 0, 0 0 0 円	(2, 0 0 0 円×1 0 人)	
・小中学生以下	4, 0 0 0 円	(1, 0 0 0 円× 4 人)	
・未就学	4, 0 0 0 円	(5 0 0 円× 8 人)	

(4) 反省点・改善ポイント

日進アグリスクール共食ワークショップでの告知から2家族参加。家族間での繋がりもあり、共同で里芋を収穫出来歓声上がる程喜ばれた。

**(サ) 事業内容**

農地賃借料と圃場管理経費

(シ) ⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 協働事業**(1) 開催日及び講師等**

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	(A) 当該事業の 実施日時 (B) 当該事業の 実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の額 (単位：円)
⑧その他この法人の目的を達成するために必要な事業 (協働事業)	農地賃借料と圃場管理経費	(A) 2022 年(R4) 5 月 22 日(日) (B) 日進市当会圃場 (C)	(D) 一般市民 (E) 55 人	73, 455 円

(2) 総費用

総合計 **7 3, 4 5 5 円**
(内訳)

・仕入高NPO	2, 5 0 0 円	・賃借料	6 6, 1 7 0 円
・消耗品費	4, 3 5 6 円	・支払手数料	4 2 9 円

(3) 収益

総合計 50,000円

(内訳)

内部売上 50,000円

(4) 反省点・改善ポイント

今後も地主様との繋がりを大切にして事業を進めていく。

(1) その他 費用

(2) 事務局管理費

1 総費用

総合計 2,790,503円

(内訳)

管理費の内訳

仕入高NPO	60,500円
印刷製本費(管理)	15,350円
通信費(管理)	557,638円
消耗品費(管理)	22,503円
水道光熱費(管理)	363,175円
減価償却費	82,573円
地代 家賃(管理)	1,080,000円
賃借料(管理)	3,000円
広告宣伝費(管理)	25,876円
諸会費(管理)	38,975円
租税公課(管理)	1,267円
支払手数料(管理)	539,646円

2 収 益

総合計 2,940,921円

(内訳)

正会員受取会費	610,787円
団体・企業受取会費	90,000円
賛助会員受取会費	6,000円
受取入金	32,000円
寄付金収入	1,917,884円
管 理	240,000円
受取利息	450円
雑 収 益	43,800円

※次年度以降の事業に対して今年度多大な寄附金を頂いた。

(3) その他の事業に係る事業

※本年度は実施せず。

3 会議の開催に関する事項

(1) 総会

・開催日時及び場所

第14回 通常総会&マザリーアースプロジェクトセミナーを開催。

2022年(R4) 3月12日 13:30~17:00

ウィルあいち セミナールーム1. 2

会員・一般 60人

(内訳) 当日参加者 33人 委任状 27人

(2) 総費用(無償ボランティア10人)

総合計 62,994円

(内訳)

・会場賃借料	18,200円	・消耗品費	1,326円
(会場費、ワイヤレスマイク含む)			
・印刷製本費	14,181円	・会議費	7,212円
・通信運搬費	20,875円	・旅費交通費	1,200円

(3) 収益

総合計 22,000円

(内訳)

《 通常総会 & マザリーアースプロジェクトセミナー 》

・参加費	16,000円 (500円×32人)
・一般	1,000円 (1,000円× 1人)
・雑収益	5,000円

(4) 反省点・改善ポイント

事務局での事前の段取りが遅れた。先を見通して段取りする。

総会・事業報告書の元となる個々の事業報告書を、逐一作成する。



ア 通常総会

通常総会

・開催日時及び場所

2022年(令和4年)3月12日 12:30~14:00

ウィルあいち 会議室セミナールーム1, 2

・議題

- ① 第一号議案 令和3年度 事業報告、決算報告について
- ② 第二号議案 令和3年度 監査報告について
- ③ 第三号議案 令和3年度 寄附金活用報告について
- ④ 第四号議案 令和4年度 事業計画（案）、活動予算（案）について
令和5年度 事業計画（案）、活動予算（案）について
- ⑤ 第五号議案 令和4年度 運営組織・人事（案）について
- ⑥ 第六号議案 定款内容変更について
- ⑦ 第七号議案 年会費について
- ⑧ 第八号議案 その他について

(2) 理事会

イ 理事会

第1回理事会

・開催日時及び場所

2022年（令和4年）1月9日 19:15～ 23:25

鶴舞事務所

・審議事項

- ①令和4年度各事業部予算について
- ②定款変更案について
- ③その他について

第2回理事会

・開催日時及び場所

2022年（令和4年）2月21日 15:00～ 18:00

鶴舞事務所

・審議事項

- ①第14回通常総会議案について
- ②第14回通常総会プログラム案について
- ③総会資料案について
- ④その他について

第3回理事会

・開催日時及び場所

2022年（令和4年）12月17日 10:20～ 19:00

鶴舞事務所

・審議事項

- ①令和5年度事業方針（案）について
- ②令和5年度年間スケジュール（案）について
- ③令和5年度組織、理事、監事（案）について
- ④令和4年度寄附金使用（案）について
- ⑤令和5年度各事業部門予算（案）について
- ⑥その他について